



PUBLIC (公開)

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム
ドキュメントバージョン: 4.3 Support Package 4 – 2023-12-07

WebSphere Portal Integration Kit ガイド

目次

1	ドキュメント履歴.....	3
2	このガイドについて.....	4
2.1	概要.....	4
3	インストールと設定.....	5
3.1	前提条件.....	5
3.2	Portal Integration Kit のインストール.....	5
	web.xml ファイルを設定する.....	5
	Portal Integration Kit をインストールする.....	6
3.3	信用できる認証の設定.....	7
	JAAS SSO 認証を設定する.....	7
4	ポートレットのデプロイ.....	9
4.1	ポートレットのデプロイについて.....	9
	ドキュメントビューポートレットをデプロイする.....	9
	ドキュメント一覧ポートレットをデプロイする.....	10

1 ドキュメント履歴

以下の表は、最も重要なドキュメント変更の概要です。

バージョン	日付	説明
SAP BusinessObjects WebSphere Portal Integration Kit 4.3 (SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.3)	2020 年 6 月	初期リリース

2 このガイドについて

2.1 概要

このガイドでは、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Portal Integration Kit for IBM WebSphere 6.1 および 6.1.5 のインストールと設定について説明します。

このガイドは、Portal Integration Kit のインストールを担当する管理者を対象としています。ご使用のポータルサーバに関する知識、および BI プラットフォームについての実践的な知識が必要です。BI プラットフォームの詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドを参照してください。

3 インストールと設定

3.1 前提条件

以下のシステムがインストールされており、相互に通信可能である必要があります。

- SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム
- IBM WebSphere

ポータル環境の要件

ポータル環境は、以下の要件を満たしている必要があります。

- ポータルサーバおよび BI プラットフォームをホストしている Web アプリケーションサーバ (WAS) が、`server1.domain.com` や `server2.domain.com` などの共通ドメインを共有している必要があります。
- ポータルサーバと BI プラットフォームをホストする WAS の Web セッションタイムアウトが一致している必要があります。
- ポータルサーバと BI プラットフォームをホストする WAS の両方で SSL を使用するか、または両方とも SSL を使用できないことが必要です。2 つのサーバの片方だけで SSL を使用することはできません。

3.2 Portal Integration Kit のインストール

Portal Integration Kit をインストールするには、以下の手順を実行する必要があります。

1. `web.xml` ファイルを設定します。
2. ポートレットの `.war` ファイルをマシンにコピーします。

ポートレットを使用すると、BI プラットフォームのドキュメント表示機能、編集機能、およびスケジュール機能を統合することができます。BI プラットフォームアーキテクチャの詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドで "アーキテクチャ" を検索してください。

3.2.1 web.xml ファイルを設定する

1. `BusinessObjectsPortlets.war` ファイルから `web.xml` ファイルを抽出します。
2. `web.xml` ファイルで、以下のパラメータ値を変更します。

オプション	説明
BusinessObjects Enterprise Static Username	(オプションパラメータ) administrator など、使用する BI プラットフォームアカウントのユーザ名。このパラメータは、静的なユーザ名とパスワードによる SSO をデプロイする場合にのみ使用します。
BusinessObjects Enterprise Static Password	(オプションパラメータ) 使用する BI プラットフォームアカウントのパスワード。このパラメータは、静的なユーザ名とパスワードによる SSO をデプロイする場合にのみ使用します。
BusinessObjects Central Management Server	必須パラメータ BOEserver:6400 など、Central Management Server の名称およびポート。
Default BI launch pad URL	(オプションパラメータ) http://BOEserver/BOE/BI など、BI ラウンチパッドのデフォルト URL。
Default OpenDocument URL	(オプションパラメータ) http:// BOEserver:<port>/OpenDocument/opendoc/ openDocument.jsp など、BI ラウンチパッドをホストしている Web アプリケーション サーバの OpenDocument URL。
<div> <div>① 注記</div> <div>BusinessObjects Enterprise パフォーマンスマネジメントを使用しない場合は、AnalyticUrl の設定を変更する必要はありません。</div> </div>	

- web.xml ファイルを設定したら、BusinessObjectsPortlets.war ファイルの該当ファイルを置き換えます。

3.2.2 Portal Integration Kit をインストールする

Portal Integration Kit は、ポータルサーバと同じマシンにインストールする必要があります。

このタスクを実行するための十分なアクセス権が必要です。

- ポータルサーバと同じマシンで BI プラットフォームを実行している場合は、手順 2 に進みます。別々のマシンでコンポーネントを実行している場合は、ポータルサーバマシンで BI プラットフォームのカスタムインストールを実行しますが、Web Tier コンポーネントのみをインストールします。

Web Tier コンポーネントのインストールの詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム 4.0 インストールガイドを参照してください。

- com.sap.businessobjects.portlets.war ファイルをポータルサーバにデプロイします。

詳しい手順が必要な場合は、ポータルサーバのドキュメントを参照してください。

ポータル統合 .war ファイルが WebSphere サーバにデプロイされます。

3.3 信用できる認証の設定

ユーザが手動認証をしなくてもポータルで BI プラットフォームのコンテンツにアクセスできるように、シングルサインオン (SSO) を設定することができます。

① 注記

セキュリティ上の理由から、信用できる認証を HTTPS なしで有効化しないでください。信用できる認証を https なしで有効にすると、URL が認証されていないユーザに公開されるため、セキュリティ侵害とみなされます。セキュリティ侵害を防ぐために、有効な証明書を使用してユーザの情報を検証できます。詳細については、[1388240](#) を参照してください。

LDAP/SiteMinder または Windows AD/Vintela を使用しているシステム

① 注記

システムの認証に LDAP と SiteMinder、または Windows AD と Vintela を組み合わせて使用している場合は、このタスクを実行する必要はありません。

システムに SSO を設定するには、次の手順を実行します。

- Central Management Server、ポータルサーバ、およびクライアントマシンが、LDAP/SiteMinder または Windows AD/Vintela を使用するように正しく設定されていることを確認します。
- `com.sap.businessobjects.portlets.war` の `web.xml` ファイルで、認証の種類を `secEnterprise` に設定します。
- ユーザがポートレットにアクセスすると、BI ラウンチパッドまたは OpenDocument で SSO 認証が試行され、ユーザセッションが確立されます。

3.3.1 JAAS SSO 認証を設定する

SAP BusinessObjects Enterprise ポータル統合と WebSphere の両方を設定するには、両方のインストールおよび実行が完了している必要があります。

また、ポータルへのログオンが予想されるすべてのユーザについて、WebSphere サーバと SAP BusinessObjects Enterprise XI サーバに同じアカウントが存在する必要があります。

1. SAP BusinessObjects Enterprise に信頼できる認証を設定し、新しい共有シークレットを作成します。
追加の設定が必要な場合は、*SAP BusinessObjects Enterprise* 管理者ガイドを参照してください。
2. ポータルサーバにキーファイル用の新しいディレクトリを作成し、`TrustedPrincipal.conf` ファイルをそこにコピーします。
3. WebSphere 管理コンソールで、**サーバ** > **アプリケーションサーバ** > **WebSphere_Portal** > **サーバインフラストラクチャの Java とプロセスの管理** > **プロセス定義** > **その他のプロパティの Java 仮想マシン** > **汎用 JVM 引数** を選択します。

4. 以下の引数を追加します。-Dbobj.trustedauth.home=<dir>。<dir> は、TrustedPrincipal.conf ファイルを保存したディレクトリへのパスに置き換えます。
5. 変更を保存して WebSphere ポータルサーバを再起動します。

4 ポートレットのデプロイ

4.1 ポートレットのデプロイについて

BI プラットフォームポータル統合キットを使用してポータルサーバにデプロイできるポートレットには、デフォルトでは次の2種類があります。ドキュメントビューポートレットおよびドキュメント一覧ポートレットです。

ドキュメントビューポートレット

これは、作成できる最も単純なタイプのポートレットです。デプロイすると、ポータルの管理者が選択した1つのレポートが表示されます。

ポートレットが表示されるとレポートが表示され、ユーザはレポート内を通常どおりに移動することができます。ただし、デフォルトのレポートに他のレポートへのリンクが含まれていない限り、ユーザは他のレポートに移動することができません。ポートレットに表示されるコンテンツは、ポータルページのデザイナーまたは管理者が設定します。

ドキュメント一覧ポートレット

このポートレットには、BI ラウンチパッドと同じ機能が多数用意されています。ユーザは、アクセス権を持つすべてのレポートへの移動、個人用のフォルダの表示、およびカテゴリの参照を行うことができます。また、ポートレットを使用して、レポートの最新表示のスケジュール、手動でのレポートの最新表示、BI コンテンツの検索、およびユーザの基本設定を行うことができます (適切なアクセス権を持っている場合)。

4.1.1 ドキュメントビューポートレットをデプロイする

1. WebSphere ポータル管理ページを開きます。
2. 新しいページまたは既存のページにポートレットを追加する際の通常の手順を実行します。
詳しい手順が必要な場合は、ポータルサーバのドキュメントを参照してください。使用できるポートレットの種類として [ドキュメントビュー] が一覧表示されます。
ポータルページのプレビューが表示されます。
3. ドキュメントビューポートレットのタイトルバーの端にある矢印をクリックし、メニューから [パーソナライズ] を選択します。
4. (JAAS SSO のみ) [シングルサインオンの CMS アドレス] を `<BIPlatformMachineAddress>:<CMSPort>` に設定します。
5. [OpenDocument URL] を `http://<BOEServer>:8080/BOE/OpenDocument/opendoc/openDocument.jsp` に設定します。

① 注記

必要に応じて、サポートされている OpenDocument のパラメータを URL に追加することができます。

6. (オプション) ポートレットの幅と高さを設定します。
7. [次へ] をクリックします。
画面に [ドキュメント ID] フィールドと BI プラットフォームリポジトリのドキュメント一覧が表示されます。
8. ポートレットに表示するドキュメントを見つけて選択します。
ドキュメントの CUID が [ドキュメント ID] ボックスに表示されます。
9. [送信] をクリックします。



4.1.2 ドキュメント一覧ポートレットをデプロイする

1. WebSphere ポータル管理ページを開きます。
2. 新しいページまたは既存のページにポートレットを追加する際の通常の手順を実行します。
使用できるポートレットの種類として [ドキュメント一覧] が一覧表示されます。詳しい手順が必要な場合は、ポータルサーバのドキュメントを参照してください。
ポータルページのプレビューが表示されます。
3. ドキュメントビューポートレットのタイトルバーの端にある矢印をクリックし、メニューから [パーソナライズ] を選択します。
4. (JAAS SSO) [シングルサインオンの CMS アドレス] を <BIPlatformMachineAddress>:<CMSPort> に設定します。
5. [BI ランチパッド URL] を http://<BOEServer>:8080/BOE/BI に設定します。
6. [ポートレットの幅] を「760」ピクセルに設定し、[ポートレットの高さ] を「450」ピクセルに設定します。
これらは最小値です。必要に応じてこれらより大きい値を設定できます。
7. [送信] をクリックします。

重要免責事項および法的情報

ハイパーリンク

リンクの一部は、アイコンやマウスオーバーテキストで分類されています。これらのリンクから、追加の情報を得ることができます。アイコンについて。

-  このアイコンが付いたリンク: SAP がホストしているものではない Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り) 以下のことに同意することになります。
 - リンク先のサイトのコンテンツが SAP のドキュメンテーションではないこと。お客様は、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできません。
 - SAP が、リンク先のサイトのコンテンツについて同意することも反対することもなく、また SAP がその利用可能性や正確性について保証しないこと。SAP は、かかるコンテンツの使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。
-  このアイコンが付いたリンク: 当該の特定の SAP 製品又はサービスのドキュメンテーションから離れ、SAP がホストしている Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り)、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできないことに同意します。

外部プラットフォームでホストされているビデオ

一部のビデオは、サードパーティのビデオホスティングプラットフォームに置かれている場合があります。SAP では、これらのプラットフォームに保存されているビデオが将来にわたって利用できると保証することはできません。また、これらのプラットフォームにホストされている、いかなる広告またはその他のコンテンツ (関連ビデオまたは同じサイトでホストされている別のビデオに移動する場合など) については、SAP の管理外であり責任を負いません。

ベータおよびその他の試験的機能

試験的機能は、SAP が将来のリリースを保証する正式に提供される機能の範囲外です。これは、試験的機能は、SAP により通知なく理由の如何を問わず随時変更される場合があることを意味します。試験的機能は、本稼働使用のためのものではありません。お客様は、試験的機能を実際の運用環境で、又は十分なバックアップがとられていないデータとともに、デモンストレーション、テスト、試験、評価その他の方法で使用してはなりません。

試験的機能の目的は、早期にフィードバックを得ることで、それに応じて顧客の皆様やパートナーが将来の製品に影響を与えることを可能にすることです。SAP コミュニティなどにおいてフィードバックを提供することで、お客様は、投稿物や二次的著作物の知的財産権が SAP の独占的所有物であり続けることを承認することになります。

コード例

ソフトウェアのコーディングやコードスニペットはすべて、例です。それらは、本稼働使用のためのものではありません。コード例は、構文や表現規則を分かりやすく説明し視覚化することのみを目的としています。SAP は、コード例の正確性や完全性について保証しません。SAP は、コード例の使用により発生した過誤や損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、損害に対して一切責任を負いません。

偏見のない表現

SAP は、ダイバーシティ & インクルージョンの文化を支持しています。SAP の文書では、可能な限り、文化、民族性、ジェンダー、および障がいの有無を問わず、すべての人々に対する偏見を伴わない表現を採用します。

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。

SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱漏等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知については、<https://www.sap.com/japan/about/legal/trademark.html> をご覧ください。